

令和3年度 第2回 滋賀県渋滞対策協議会

前回（令和3年8月3日）の議事内容の確認

令和4年2月22日（火）

1. 前回協議会の議事概要

- 令和3年8月3日に令和3年度第1回滋賀県渋滞対策協議会が開催された。
- 主に、滋賀県内の交通状況や主要渋滞箇所の交通状況・対策実施状況及びTDM施策の実施状況について議論・共有を行った。

■令和3年度 第1回滋賀県渋滞対策協議会 (R3.8.3)における議事内容

議事内容
<p>(1) 滋賀県内の交通量の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・滋賀県内のコロナ禍による交通量の変化を前年と比較し、報告した。
<p>(2) 主要渋滞箇所における対策進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none">・主要渋滞箇所等の交通状況、主要渋滞箇所における対策状況及びモニタリングについて情報共有を行い、対策検討中の箇所については、TDM施策なども含め、関係機関で調整しながら推進を図る方針であることを確認した。
<p>(3) 主要渋滞箇所における特定解除候補箇所</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度に特定解除を見送った六枚橋交差点、瀬田橋本町東交差点、新矢倉(立体)交差点については、新型コロナウイルス感染症に伴う交通への影響を踏まえながら、今秋に渋滞長調査等を行い、その結果をもって、次回渋滞対策協議会において特定解除の検討を行うことと了承された。
<p>(4) TDM施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・TDM施策の推進について、TDM施策が渋滞対策を行う上でも重要な施策であることを確認し、今後、TDM施策に関するワーキンググループにて、自治体を含めた関係者で連携してTDM施策の検討を進めて行くこととなった。
<p>(5) 今後の進め方</p> <ul style="list-style-type: none">・主要渋滞箇所について、ETC2.0プローブデータや現地調査結果等に基づき、継続的に交通状況をモニタリングをするとともに、特定解除フローに基づき特定解除を検討する。・TDM施策について、滋賀県及び各市町の今後の取組み予定を把握するとともに、交通ビッグデータを活用した技術支援等により渋滞施策の推進を図る。
<p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・野洲栗東バイパス整備に伴う通行止規制について、周知した。